

令和5年度 自己評価アンケートまとめ

職員による自己評価

- ・環境面においては、建物の出入口は、バリアフリーとなっている。
- ・シャワー室が完備されている。
- ・室内の広さは、児童の様子に合わせて、個別対応もできるほど、十分にある。
- ・支援については、職員間で、ご利用者様の情報共有し、児童の様子や特性を考慮した活動を進める事が出来ている。
- ・非常時の対応に関しては、必要な訓練を行い、マニュアルを策定し、再確認と周知が必要と思われる。

保護者による評価

- ・児童は通所を楽しみにしている事、事業所の支援に満足していると高評価をいただいた。
- ・新しい職員体制となった為、今後も、安心・安全に利用できる様な信頼関係を求める声を多くいただいた。
- ・保護者間での情報共有ができる場がなく、イベントが行われなくなった事は残念。（コロナ禍にある為、自粛中。）
- ・非常時の訓練、緊急時の対応については連絡帳、お便りでお知らせして周知されていると回答をいただいた。が、どちらとも言えないという意見を数件いただいた。



事業所内での分析

- ・安心してご利用していただく為に、児童の特性を理解し、必要な支援を提供できるように、全職員での情報交換の場を増やしていく必要がある。
- ・ご家族様と情報共有・伝達をしっかりと行っていく。

事業所の強み

- ・来所時の児童の様子、個々の特性に合わせて、活動内容を工夫するようにしている。
- ・1日の予定・支援に関して記録をとっている為、職員同士の声掛け、協力しながら支援することが出来ている。
- ・状況に応じて、個別対応を行う事が出来る。

事業所の改善点

- ・保護者様との信頼関係を築きあげていく為に、情報共有や伝達を行っていく。
- ・非常時、防犯、感染対応の説明やマニュアルについて、保護者様と非常勤職員に周知が必要。

事業所の改善への取り組み

- ・職員配置を見直し、保護者様が安心してご利用出来るように体制を整えていく。
- ・職員間で情報共有を強化し、保護者様からの疑問点・心配事に統一した回答が出来るようにしていく。
- ・職員の資質向上に向けて、研修等の取り組みを行い児童の特性に適切な支援を行っていく。